



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年2月8日

上場会社名 株式会社じもとホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 7161 URL <https://www.jimoto-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 隆
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総合企画部長 (氏名) 尾形 毅 (TEL) 022 (722) 0011
 四半期報告書提出予定日 2022年2月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有 特定取引勘定設置の有無 無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	30,248	△11.0	4,351	ー	2,944	ー
2021年3月期第3四半期	33,989	16.5	△605	ー	△2,044	ー

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 1,182百万円 (△77.8%) 2021年3月期第3四半期 5,328百万円 (ー%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	131.12	29.00
2021年3月期第3四半期	△122.02	ー

(注1) 当社は、「株式給付信託 (BBT)」を導入しており、株主資本において自己株式として計上されている「株式給付信託 (BBT)」に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

(注2) 当社は、2020年10月1日付で普通株式並びにB種優先株式、C種優先株式及びD種優先株式について10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	2,746,636	116,839	4.2
2021年3月期	2,663,931	116,425	4.3

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 116,611百万円 2021年3月期 116,206百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計ー期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	ー	1.50	ー	10.00	ー
2022年3月期	ー	10.00	ー	ー	ー
2022年3月期 (予想)	ー	ー	ー	10.00	20.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注2) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式（非上場）の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

(注3) 当社は、2020年10月1日付で普通株式並びにB種優先株式、C種優先株式及びD種優先株式について10株につき1株の割合で株式併合を行っております。2021年3月期の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。当該株式併合の影響を考慮しない場合は1円00銭となります。また、年間配当金合計の予想については、単純合算が適切でないため、「ー」と表示しております。

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,700	—	3,100	—	132.27

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2022年3月期3 Q	21,540,263株	2021年3月期	21,540,263株
2022年3月期3 Q	80,303株	2021年3月期	79,492株
2022年3月期3 Q	21,460,288株	2021年3月期3 Q	17,817,587株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

(注)

1. 当社は、2020年10月1日付で普通株式並びにB種優先株式、C種優先株式及びD種優先株式について10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。
2. 期末自己株式数には、「株式給付信託（BBT）」が保有する当社株式数（2022年3月期3Q31,900株、2021年3月期32,600株）が含まれております。
3. 期中平均株式数の計算において控除する自己株式数には、「株式給付信託（BBT）」が保有する当社株式数（2022年3月期3Q32,272株、2021年3月期3Q35,052株）が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○ 種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

B種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年3月期	—	0.00	—		
2022年3月期 (予想)				0.00	0.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注2) 2022年3月期末(予想)の配当については、2021年7月9日に預金保険機構が公表した震災特例金融機関等の「優先配当年率としての資金調達コスト(令和2年度)」に基づき算出しております。なお、「優先配当年率としての資金調達コスト(令和2年度)」は0.00%であります。

C種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	1.29	—	12.96	—
2022年3月期	—	13.06	—		
2022年3月期 (予想)				13.06	26.12

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注2) 当社は、2020年10月1日付で普通株式並びにB種優先株式、C種優先株式及びD種優先株式について10株につき1株の割合で株式併合を行っております。2021年3月期の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。当該株式併合の影響を考慮しない場合は1円29銭となります。また、年間配当金合計については、単純合算が適切でないため、「—」と表示しております。

D種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年3月期	—	0.00	—		
2022年3月期 (予想)				0.00	0.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注2) 2022年3月期末(予想)の配当については、2021年7月9日に預金保険機構が公表した震災特例金融機関等の「優先配当年率としての資金調達コスト(令和2年度)」に基づき算出しております。なお、「優先配当年率としての資金調達コスト(令和2年度)」は0.00%であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6
(追加情報)	7
(参考)	
2022年3月期 第3四半期決算説明資料	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、経常収益は、子銀行のきらやか銀行において、投資信託解約益や債権売却益などの前年度の特異要因が剥落したことなどにより、前第3四半期連結累計期間比37億40百万円減少の302億48百万円となりました。経常費用は、きらやか銀行における前年度の有価証券ポートフォリオの見直しに伴う損失処理が剥落したことなどにより、前第3四半期連結累計期間比86億98百万円減少の258億96百万円となりました。これにより、経常利益は、前第3四半期連結累計期間比49億57百万円増加し43億51百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前第3四半期連結累計期間比49億89百万円増加し29億44百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は、前連結会計年度末比827億4百万円増加の2兆7,466億36百万円となりました。また、純資産は、前連結会計年度末比4億14百万円増加の1,168億39百万円となりました。

主な勘定残高につきましては、貸出金残高は、中小企業等貸出金が増加したことなどから前連結会計年度末比154億10百万円増加の1兆8,601億82百万円となりました。預金残高（譲渡性預金含む）は、個人預金及び公金預金が増加したことから前連結会計年度末比611億79百万円増加の2兆5,295億81百万円となりました。有価証券残高は、前連結会計年度末比1億74百万円減少の5,401億63百万円となりました。

なお、当社グループの中核的企業である子銀行のうち、株式会社きらやか銀行単体の当第3四半期末における貸出金残高は前事業年度末比50億87百万円減少し1兆49億37百万円、預金残高（譲渡性預金含む）は前事業年度末比266億14百万円増加し1兆3,031億73百万円となりました。株式会社仙台銀行単体の当第3四半期末における貸出金残高は前事業年度末比210億68百万円増加し8,578億47百万円、預金残高（譲渡性預金含む）は前事業年度末比347億14百万円増加し1兆2,286億81百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経常利益は、2021年5月14日に公表しました2022年3月期通期の業績予想の数値を上回っておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により地域経済の動向が不透明であり、与信コストが増加する可能性もあることから、現時点において業績予想の修正はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
現金預け金	203,938	271,343
買入金銭債権	829	860
金銭の信託	2,947	2,965
有価証券	540,337	540,163
貸出金	1,844,772	1,860,182
外国為替	521	323
リース債権及びリース投資資産	12,509	12,868
その他資産	31,998	32,715
有形固定資産	23,265	23,116
無形固定資産	1,154	945
退職給付に係る資産	3,819	4,207
繰延税金資産	3,586	3,563
支払承諾見返	6,974	6,637
貸倒引当金	△12,723	△13,257
資産の部合計	2,663,931	2,746,636
負債の部		
預金	2,289,070	2,350,238
譲渡性預金	179,331	179,343
コールマネー及び売渡手形	11,700	2,800
借入金	39,197	79,260
外国為替	0	1
その他負債	17,319	7,920
賞与引当金	372	181
退職給付に係る負債	92	105
睡眠預金払戻損失引当金	358	303
偶発損失引当金	355	381
繰延税金負債	1,170	1,076
再評価に係る繰延税金負債	1,561	1,546
支払承諾	6,974	6,637
負債の部合計	2,547,506	2,629,796
純資産の部		
資本金	18,750	18,750
資本剰余金	68,879	68,879
利益剰余金	24,608	26,821
自己株式	△86	△86
株主資本合計	112,152	114,364
その他有価証券評価差額金	877	△956
土地再評価差額金	3,401	3,367
退職給付に係る調整累計額	△224	△163
その他の包括利益累計額合計	4,054	2,246
非支配株主持分	219	228
純資産の部合計	116,425	116,839
負債及び純資産の部合計	2,663,931	2,746,636

(株)じもとホールディングス(7161) 2022年3月期 第3四半期決算短信

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
経常収益	33,989	30,248
資金運用収益	21,384	19,808
(うち貸出金利息)	16,789	16,393
(うち有価証券利息配当金)	4,491	3,205
役務取引等収益	4,625	5,025
その他業務収益	3,814	1,018
その他経常収益	4,164	4,396
経常費用	34,594	25,896
資金調達費用	306	218
(うち預金利息)	235	154
役務取引等費用	2,800	2,687
その他業務費用	8,425	856
営業経費	17,891	17,265
その他経常費用	5,171	4,869
経常利益又は経常損失(△)	△605	4,351
特別利益	16	9
固定資産処分益	16	9
特別損失	145	72
固定資産処分損	35	62
減損損失	109	10
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△734	4,289
法人税、住民税及び事業税	293	624
法人税等調整額	1,026	708
法人税等合計	1,319	1,333
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,054	2,955
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△10	10
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,044	2,944

(株)じもとホールディングス(7161) 2022年3月期 第3四半期決算短信

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,054	2,955
その他の包括利益	7,383	△1,772
その他有価証券評価差額金	7,304	△1,833
退職給付に係る調整額	78	60
四半期包括利益	5,328	1,182
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,336	1,171
非支配株主に係る四半期包括利益	△8	11

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、役務取引等収益に係る契約のうち履行義務が一定の期間にわたり充足されるものについて、従来は契約開始時に一時点で収益を認識しておりましたが、履行義務を充足するにつれて収益を認識する方法に変更しております。また、他社が運営するポイントプログラムにかかるポイント相当額について、従来は役務取引等費用として計上しておりましたが、ポイント相当額を差し引いた金額で役務取引等収益を計上する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過措置に従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、利益剰余金の当期首残高は75百万円減少しております。また、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過措置に従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下、「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過措置に従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる当第3四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(株式給付信託 (BBT))

当社は、当社及び当社子会社である株式会社きらやか銀行並びに株式会社仙台銀行（以下、「当社グループ」という。）の取締役（監査等委員である取締役及び社外取締役を除く。以下、「対象役員」という。）に対して業績連動型の株式報酬制度「株式給付信託 (BBT) 」を導入しております。

1. 取引の概要

当社が抛出する金銭を原資として、本制度に基づき設定される信託を通じて当社株式を取得します。取得した当社株式は、対象役員に対して、当社グループが定める「役員株式給付規程」に従い受益者要件を満たした者に当社株式等を給付します。

2. 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額（付随費用の金額を除く。）により、純資産の部に自己株式として計上しております。

当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度末40百万円、32千株、当第3四半期連結会計期間末40百万円、31千株であります。

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

当第3四半期連結会計期間において、新型コロナウイルス感染症の影響拡大に伴う貸倒引当金の追加計上に当たっては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う経済活動の停滞は翌連結会計年度中にわたり続くものと仮定し、貸倒引当金の見積りに反映しております。具体的には、今後の事業へ一定の影響があるものとした一部の債務者に係る債権について予想損失率に修正を加えて、貸倒引当金の追加計上を行っております。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が依然として続いていることから、当第3四半期連結会計期間において、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う経済活動の停滞に関する仮定を当連結会計年度中にわたり続くものから翌連結会計年度中にわたり続くものに変更しております。

なお、個別債務者の業績変化又は新型コロナウイルス感染症の感染状況やその経済への影響の変化等により、見積りに用いた仮定が変化した場合、当第3四半期連結会計期間後の連結財務諸表における貸倒引当金に重要な影響を及ぼす可能性があります。

(参考) 2022年3月期 第3四半期決算説明資料

1. 損益の状況

(1) じもとホールディングス【連結】

2022年3月期第3四半期の連結経常収益は、子銀行のきらやか銀行において、投資信託解約益や債権売却益などの前年度の特異要因が剥落したことなどにより、前年同期比37億40百万円減少の302億48百万円となりました。
また、経常利益は、きらやか銀行における前年度の有価証券ポートフォリオの見直しに伴う損失処理が剥落したことから、前年同期比49億57百万円増加の43億51百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比49億89百万円増加の29億44百万円となりました。

(単位：百万円)

		2022年3月期 第3四半期 (9カ月間) (A)	2021年3月期 第3四半期 (9カ月間) (B)	増減 (A)-(B)	(参考) 前期 2021年3月期 (12カ月間)
連結経常収益	1	30,248	33,989	△ 3,740	44,089
連結業務粗利益	2	22,090	18,292	3,797	25,363
資金利益	3	19,590	21,078	△ 1,487	27,624
役務取引等利益	4	2,338	1,825	512	2,694
その他業務利益	5	161	△ 4,611	4,773	△ 4,955
営業経費 (△)	6	17,265	17,891	△ 626	23,827
貸倒償却引当費用 (△)	7	910	1,386	△ 475	4,013
貸出金償却 (△)	8	4	11	△ 7	83
個別貸倒引当金繰入額 (△)	9	1,212	67	1,144	2,305
一般貸倒引当金繰入額 (△)	10	△ 419	1,126	△ 1,546	1,273
債権売却損 (△)	11	23	2	20	80
偶発損失引当金繰入額 (△)	12	25	-	25	15
信用保証協会責任共有制度負担金 (△)	13	64	177	△ 112	255
その他 (△)	14	-	-	-	-
貸倒引当金戻入益	15	-	-	-	-
株式等関係損益	16	174	28	146	△ 117
偶発損失引当金戻入益	17	-	60	△ 60	-
持分法による投資損益	18	15	21	△ 5	30
その他損益	19	246	268	△ 22	289
経常利益 (△は経常損失)	20	4,351	△ 605	4,957	△ 2,275
特別損益	21	△ 62	△ 128	66	△ 333
税金等調整前四半期純利益 (△は税金等調整前四半期純損失)	22	4,289	△ 734	5,023	△ 2,609
法人税等合計 (△)	23	1,333	1,319	13	566
法人税、住民税及び事業税 (△)	24	624	293	331	366
法人税等調整額 (△)	25	708	1,026	△ 317	200
四半期純利益 (△は四半期純損失)	26	2,955	△ 2,054	5,010	△ 3,175
非支配株主に帰属する四半期純利益 (△は非支配株主に帰属する四半期純損失)	27	10	△ 10	20	1
親会社株主に帰属する四半期純利益 (△は親会社株主に帰属する四半期純損失)	28	2,944	△ 2,044	4,989	△ 3,176

(注) 1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. (連結) 業務粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用 (※)) + (役務取引等収益 - 役務取引等費用) + (その他業務収益 - その他業務費用)

(※) じもとホールディングス【連結】、2行合算及び子銀行単体の資金調達費用については、金銭の信託運用見合費用を控除しております。

(株)じもとホールディングス(7161) 2022年3月期 第3四半期決算短信

(2) 2行合算

(単位：百万円)

		2022年3月期 第3四半期 (9カ月間) (A)	2021年3月期 第3四半期 (9カ月間) (B)	増 減 (A) - (B)	(参考) 前期 2021年3月期 (12カ月間)
経 常 収 益	1	26,073	30,030	△ 3,956	38,762
業 務 粗 利 益 ①	2	22,051	18,236	3,814	25,230
(コア業務粗利益(①-②))	3	22,068	25,373	△ 3,305	32,779
資 金 利 益	4	19,770	21,226	△ 1,456	27,771
役 務 取 引 等 利 益	5	2,128	1,631	496	2,426
そ の 他 業 務 利 益	6	153	△ 4,621	4,774	△ 4,968
(うち国債等債券損益)②	7	△ 17	△ 7,137	7,119	△ 7,549
経費(除く臨時処理分)(△)	8	16,815	17,348	△ 532	23,060
人 件 費(△)	9	8,262	8,697	△ 434	11,531
物 件 費(△)	10	7,151	7,219	△ 68	9,627
税 金(△)	11	1,401	1,431	△ 30	1,901
実 質 業 務 純 益 ③	12	5,236	888	4,347	2,170
コ ア 業 務 純 益 (③-②)	13	5,253	8,025	△ 2,772	9,719
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	14	5,197	5,844	△ 646	7,461
一般貸倒引当金繰入額(△)④	15	△ 422	1,124	△ 1,546	1,289
業 務 純 益	16	5,658	△ 235	5,894	880
臨 時 損 益	17	△ 1,327	△ 365	△ 962	△ 3,259
う ち 株 式 等 関 係 損 益	18	174	30	144	△ 124
う ち 不 良 債 権 処 理 額 (△) ⑤	19	1,316	292	1,024	2,760
う ち 貸 倒 引 当 金 戻 入 益 ⑥	20	-	-	-	-
う ち 偶 発 損 失 引 当 金 戻 入 益 ⑦	21	7	73	△ 65	48
う ち 償 却 債 権 取 立 益	22	32	26	5	34
経 常 利 益 (△は経常損失)	23	4,330	△ 601	4,931	△ 2,378
特 別 損 益	24	△ 74	△ 141	66	△ 345
税引前四半期純利益(△は税引前四半期純損失)	25	4,255	△ 742	4,998	△ 2,724
法人税、住民税及び事業税(△)	26	562	249	312	339
法 人 税 等 調 整 額 (△)	27	707	925	△ 218	74
四半期純利益(△は四半期純損失)	28	2,986	△ 1,917	4,903	△ 3,138
与信関係費用(④+⑤-⑥-⑦)	29	886	1,343	△ 456	4,001

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(3) 子銀行単体

① きらやか銀行

2022年3月期第3四半期の経常収益は、投資信託解約益や債権売却益などの前年度の特種要因が剥落したことなどにより、前年同期比38億49百万円減少の140億円となりました。

銀行本来の収益力を表すコア業務純益は、上記の要因等により、前年同期比30億85百万円減少の28億68百万円となりました。

経常利益は、前年度の有価証券ポートフォリオの見直しに伴う損失処理が剥落したため、前年同期比46億13百万円増加の23億97百万円、四半期純利益は、前年同期比48億70百万円増加の16億88百万円となりました。

(単位：百万円)

		2022年3月期 第3四半期 (9カ月間) (A)	2021年3月期 第3四半期 (9カ月間) (B)	増減 (A) - (B)	(参考) 前期 2021年3月期 (12カ月間)
経常収益	1	14,000	17,850	△ 3,849	22,335
業務粗利益 ①	2	11,981	8,398	3,582	12,083
(コア業務粗利益 (① - ②))	3	11,994	15,523	△ 3,529	19,278
資金利益	4	10,240	12,081	△ 1,841	15,187
役務取引等利益	5	1,589	965	624	1,584
その他業務利益 (うち国債等債券損益) ②	6	150	△ 4,648	4,799	△ 4,687
	7	△ 12	△ 7,124	7,111	△ 7,194
経費 (除く臨時処理分) (△)	8	9,125	9,569	△ 444	12,730
人件費 (△)	9	4,463	4,777	△ 313	6,330
物件費 (△)	10	3,933	4,074	△ 140	5,428
税金 (△)	11	727	718	9	971
実質業務純益 ③	12	2,855	△ 1,170	4,026	△ 647
コア業務純益 (③ - ②)	13	2,868	5,954	△ 3,085	6,547
コア業務純益 (除く投資信託解約損益)	14	2,868	3,784	△ 916	4,377
一般貸倒引当金繰入額 (△) ④	15	△ 169	266	△ 435	827
業務純益	16	3,025	△ 1,436	4,462	△ 1,474
臨時損益	17	△ 628	△ 779	150	△ 2,889
うち株式等関係損益	18	1	20	△ 18	△ 132
うち不良債権処理額 (△) ⑤	19	455	640	△ 184	2,415
うち貸倒引当金戻入益 ⑥	20	-	-	-	-
うち偶発損失引当金戻入益 ⑦	21	-	-	-	-
うち償却債権取立益	22	23	20	2	25
経常利益 (△は経常損失)	23	2,397	△ 2,216	4,613	△ 4,364
特別損益	24	△ 14	△ 90	76	△ 335
税引前四半期純利益 (△は税引前四半期純損失)	25	2,382	△ 2,306	4,689	△ 4,699
法人税、住民税及び事業税 (△)	26	287	22	264	30
法人税等調整額 (△)	27	407	852	△ 445	125
四半期純利益 (△は四半期純損失)	28	1,688	△ 3,181	4,870	△ 4,855
与信関係費用 (④ + ⑤ - ⑥ - ⑦)	29	286	906	△ 620	3,242

(注) 1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

②仙台銀行

2022年3月期第3四半期の経常収益は、前年同期比1億6百万円減少の120億73百万円となりました。
銀行本来の収益力を表すコア業務純益は、役務取引等利益が減少したものの、資金利益が増加したことなどから、前年同期比3億13百万円増加の23億84百万円となりました。
経常利益は、前年同期比3億18百万円増加の19億33百万円、四半期純利益は、前年同期比33百万円増加の12億97百万円となりました。

(単位：百万円)

		2022年3月期 第3四半期 (9カ月間) (A)	2021年3月期 第3四半期 (9カ月間) (B)	増 減 (A) - (B)	(参考) 前期 2021年3月期 (12カ月間)
経常収益	1	12,073	12,179	△ 106	16,426
業務粗利益①	2	10,070	9,837	232	13,146
(コア業務粗利益(①-②))	3	10,074	9,850	224	13,501
資金利益	4	9,529	9,145	384	12,584
役務取引等利益	5	538	665	△ 127	842
その他業務利益 (うち国債等債券損益)②	6	2	27	△ 24	△ 280
	7	△ 4	△ 12	8	△ 354
経費(除く臨時処理分) (△)	8	7,690	7,778	△ 88	10,329
人件費(△)	9	3,798	3,920	△ 121	5,200
物件費(△)	10	3,217	3,145	72	4,198
税金(△)	11	673	713	△ 39	929
実質業務純益③	12	2,380	2,059	321	2,817
コア業務純益(③-②)	13	2,384	2,071	313	3,172
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	14	2,328	2,059	269	3,083
一般貸倒引当金繰入額(△)④	15	△ 252	858	△ 1,110	462
業務純益	16	2,632	1,200	1,431	2,355
臨時損益	17	△ 699	413	△ 1,113	△ 369
うち株式等関係損益	18	173	9	163	8
うち不良債権処理額(△)⑤	19	860	△ 347	1,208	344
うち貸倒引当金戻入益⑥	20	-	-	-	-
うち偶発損失引当金戻入益⑦	21	7	73	△ 65	48
うち償却債権取立益	22	9	5	3	8
経常利益(△は経常損失)	23	1,933	1,614	318	1,985
特別損益	24	△ 60	△ 50	△ 9	△ 10
税引前四半期純利益(△は税引前四半期純損失)	25	1,873	1,564	308	1,975
法人税、住民税及び事業税(△)	26	275	226	48	309
法人税等調整額(△)	27	299	73	226	△ 51
四半期純利益(△は四半期純損失)	28	1,297	1,264	33	1,717
与信関係費用(④+⑤-⑥-⑦)	29	600	436	163	758

(注) 1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 2021年3月期第3四半期における与信関係費用には、債権売却益0百万円を含んでおります。

3. 2021年3月期における与信関係費用には、債権売却益0百万円を含んでおります。

2. 金融再生法開示債権の状況

・きらやか銀行の金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の残高）は、前年同月末比35億22百万円増加の221億65百万円となりました。総与信額に占める割合は、前年同月末比0.36ポイント上昇の2.14%となりました。

・仙台銀行の金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の残高）は、前年同月末比38億77百万円増加の255億44百万円となりました。総与信額に占める割合は、前年同月末比0.32ポイント上昇の2.95%となりました。

(1) 2行合算

(単位：百万円)

	2021年12月末	2021年3月末比		2021年3月末	2020年12月末
		2021年3月末比	2020年12月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,662	742	1,854	3,919	2,807
危険債権	36,757	1,382	5,020	35,374	31,737
要管理債権	6,290	347	524	5,942	5,765
(合計)(A)	47,709	2,472	7,400	45,237	40,309
正常債権	1,849,608	15,033	23,890	1,834,574	1,825,717
(総与信額)(B)	1,897,317	17,505	31,290	1,879,812	1,866,027
総与信額に占める割合(A/B)	2.51%	0.11 ^{キイ} _{ポイント}	0.35 ^{キイ} _{ポイント}	2.40%	2.16%

(2) きらやか銀行

(単位：百万円)

	2021年12月末	2021年3月末比		2021年3月末	2020年12月末
		2021年3月末比	2020年12月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,131	220	1,358	2,911	1,773
危険債権	16,592	684	2,446	15,907	14,145
要管理債権	2,441	△281	△283	2,722	2,724
(合計)(A)	22,165	623	3,522	21,541	18,643
正常債権	1,009,437	△4,998	△15,597	1,014,435	1,025,034
(総与信額)(B)	1,031,602	△4,374	△12,075	1,035,977	1,043,677
総与信額に占める割合(A/B)	2.14%	0.07 ^{キイ} _{ポイント}	0.36 ^{キイ} _{ポイント}	2.07%	1.78%

(3) 仙台銀行

(単位：百万円)

	2021年12月末	2021年3月末比		2021年3月末	2020年12月末
		2021年3月末比	2020年12月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,530	521	496	1,008	1,034
危険債権	20,165	697	2,573	19,467	17,591
要管理債権	3,848	628	808	3,219	3,040
(合計)(A)	25,544	1,848	3,877	23,695	21,666
正常債権	840,171	20,031	39,488	820,139	800,683
(総与信額)(B)	865,715	21,880	43,365	843,835	822,349
総与信額に占める割合(A/B)	2.95%	0.15 ^{キイ} _{ポイント}	0.32 ^{キイ} _{ポイント}	2.80%	2.63%

3. 時価のある有価証券の評価損益

仙台銀行は、2020年3月から5月にかけて、有価証券について海外債券中心のポートフォリオに入替えを実施しております。

また、きらやか銀行においても、SBIホールディングスとの資本業務提携を契機に、2020年12月期に有価証券のポートフォリオ入替えを実施し、評価損を全額損失計上しましたが、その後の海外金利上昇により、評価損が再拡大しております。なお、現在のポートフォリオは海外債券が中心であることから、評価損が生じた場合でも、市場動向にかかわらず、経年により価格が回復することが期待されます。ポートフォリオの運用にあたっては、投資助言契約を締結するSBI地方創生アセットマネジメントと連携して対応しております。

(単位：百万円)

		2021年12月末					2021年3月末			2020年12月末		
		評価損益	評価益	評価損	2021年3月末比	2020年12月末比	評価損益	評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損
じもと HD (連結)	満期保有目的	△ 61	-	61	△ 2	△ 15	△ 58	-	58	△ 46	-	46
	その他有価証券	△ 1,407	5,034	6,442	△ 2,618	△ 6,057	1,211	6,614	5,402	4,650	6,096	1,446
	株式	178	378	200	△ 311	66	489	556	66	111	475	364
	債券	△ 14	196	211	224	△ 36	△ 239	183	422	21	337	315
	その他	△ 1,570	4,459	6,029	△ 2,531	△ 6,087	960	5,874	4,913	4,517	5,283	765
2行合算 (単体)	満期保有目的	△ 102	-	102	17	9	△ 120	-	120	△ 112	-	112
	その他有価証券	△ 1,427	5,045	6,472	△ 2,633	△ 6,076	1,206	6,619	5,413	4,649	6,101	1,451
	株式	121	394	272	△ 300	80	422	561	139	41	477	436
	債券	27	197	170	201	△ 65	△ 173	187	361	92	342	249
	その他	△ 1,576	4,453	6,029	△ 2,533	△ 6,091	957	5,870	4,912	4,515	5,281	765
きらやか 銀行 (単体)	満期保有目的	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他有価証券	△ 4,065	761	4,827	△ 1,385	△ 4,115	△ 2,679	982	3,662	49	690	641
	株式	160	249	88	△ 52	209	212	258	45	△ 48	237	286
	債券	47	176	128	186	△ 83	△ 138	147	286	131	295	163
	その他	△ 4,274	335	4,610	△ 1,519	△ 4,240	△ 2,754	576	3,331	△ 33	156	190
仙台銀行 (単体)	満期保有目的	△ 102	-	102	17	9	△ 120	-	120	△ 112	-	112
	その他有価証券	2,638	4,283	1,645	△ 1,247	△ 1,961	3,885	5,636	1,750	4,600	5,410	810
	株式	△ 39	145	184	△ 248	△ 128	209	303	93	89	239	149
	債券	△ 20	20	41	15	18	△ 35	39	75	△ 39	46	85
	その他	2,698	4,117	1,419	△ 1,013	△ 1,851	3,711	5,293	1,581	4,549	5,124	575

- (注) 1. 仙台銀行が保有する有価証券については、企業結合会計に基づくじもとホールディングス連結会計上の簿価と子銀行の簿価が相違するため、じもとホールディングス連結の有価証券評価損益と子銀行の有価証券評価損益の総額の合計は一致いたしません。
2. 「評価損益」は、「満期保有目的の債券」については貸借対照表計上額と時価の差額を計上し、「その他有価証券」については時価評価しておりますので貸借対照表計上額と取得原価の差額を計上しております。
3. 2018年6月期に、きらやか銀行が満期保有目的の債券を売却したことに伴い、2020年3月期までに取得した仙台銀行の満期保有目的の債券は、じもとホールディングス連結において「その他有価証券」に計上しております。

4. 預金等、預かり資産、貸出金の残高

(1) 預金等の残高

・きらやか銀行の預金等の残高は、個人預金が増加したものの、公金預金及び法人預金の減少により、前年同月末比178億6百万円減少の1兆3,031億73百万円となりました。
 ・仙台銀行の預金等の残高は、法人預金及び公金預金が増加したものの、個人預金が増加したことから、前年同月末比187億15百万円増加の1兆2,286億81百万円となりました。

(単位：百万円)

		2021年12月末	2021年3月末比	2020年12月末比	2021年3月末	2020年12月末
2行合算	預金等	2,531,855	61,329	908	2,470,525	2,530,946
	うち個人預金	1,628,999	31,166	38,014	1,597,833	1,590,985
	うち法人預金	644,914	△ 12,809	△ 21,710	657,723	666,624
	うち公金預金	253,074	45,086	△ 14,260	207,987	267,335
きらやか銀行 (単体)	預金等	1,303,173	26,614	△ 17,806	1,276,558	1,320,980
	うち個人預金	891,136	7,840	7,966	883,295	883,169
	うち法人預金	367,696	△ 9,189	△ 15,440	376,885	383,136
	うち公金預金	41,791	29,200	△ 9,651	12,591	51,443
仙台銀行 (単体)	預金等	1,228,681	34,714	18,715	1,193,967	1,209,965
	うち個人預金	737,863	23,325	30,047	714,537	707,815
	うち法人預金	277,217	△ 3,620	△ 6,269	280,838	283,487
	うち公金預金	211,282	15,886	△ 4,609	195,396	215,891

(注) 預金等には、譲渡性預金を含んでおります。

(2) 預かり資産残高

・きらやか銀行の預かり資産残高は、生命保険等の減少により、前年同月末比67億34百万円減少の1,044億75百万円となりました。
 ・仙台銀行の預かり資産残高は、投資信託が増加したものの生命保険等の減少等により、前年同月末比73億72百万円減少の942億82百万円となりました。

(単位：百万円)

		2021年12月末	2021年3月末比	2020年12月末比	2021年3月末	2020年12月末
2行合算	預かり資産残高	198,758	△ 1,416	△ 14,106	200,174	212,864
	投資信託	35,291	2,097	3,153	33,194	32,138
	公共債(国債等)	6,733	△ 391	△ 560	7,124	7,293
	生命保険	156,733	△ 3,121	△ 16,699	159,854	173,432
きらやか銀行 (単体)	預かり資産残高	104,475	△ 2,306	△ 6,734	106,782	111,209
	投資信託	21,817	△ 1,093	△ 552	22,911	22,370
	公共債(国債等)	1,571	△ 217	△ 218	1,788	1,789
	生命保険	81,087	△ 995	△ 5,962	82,083	87,050
仙台銀行 (単体)	預かり資産残高	94,282	890	△ 7,372	93,391	101,654
	投資信託	13,474	3,190	3,705	10,283	9,768
	公共債(国債等)	5,162	△ 174	△ 341	5,336	5,504
	生命保険	75,645	△ 2,125	△ 10,736	77,771	86,382

(3) 貸出金の残高

- ・きらやか銀行の貸出金の残高は、中小企業等貸出金は増加したものの地公体向け融資等の減少から、前年同月末比144億16百万円減少の1兆49億37百万円となりました。
- ・仙台銀行の貸出金の残高は、新型コロナウイルス感染症関連の資金需要への対応によって中小企業等貸出が増加したこと等により、前年同月末比426億18百万円増加の8,578億47百万円となりました。

(単位：百万円)

		2021年12月末	2021年3月末比	2020年12月末比	2021年3月末	2020年12月末
2行合算	貸出金	1,862,785	15,980	28,201	1,846,804	1,834,583
	中小企業等貸出金残高	1,601,402	37,213	57,762	1,564,189	1,543,640
	うち消費者ローン	526,746	28,514	34,421	498,232	492,324
	中小企業等貸出金比率	85.96 %	1.27 <small>対前</small>	1.82 <small>対前</small>	84.69 %	84.14 %
きらやか銀行 (単体)	貸出金	1,004,937	△ 5,087	△ 14,416	1,010,025	1,019,354
	中小企業等貸出金残高	846,435	8,869	9,656	837,566	836,779
	うち消費者ローン	245,901	8,078	11,056	237,823	234,845
	中小企業等貸出金比率	84.22 %	1.30 <small>対前</small>	2.14 <small>対前</small>	82.92 %	82.08 %
仙台銀行 (単体)	貸出金	857,847	21,068	42,618	836,779	815,229
	中小企業等貸出金残高	754,967	28,344	48,106	726,623	706,861
	うち消費者ローン	280,845	20,436	23,365	260,409	257,479
	中小企業等貸出金比率	88.00 %	1.17 <small>対前</small>	1.30 <small>対前</small>	86.83 %	86.70 %